

目に見える恩恵の体験

～グルマーイ・チッドヴィラーサーナンダ

最近、私は「テンプルの中にいなさい」のライブ動画配信のサツツァングの担当責任者である ローヒニー・メノンに、グディー・パードゥワー——パンチャーンガと呼ばれるインドの太陰暦で、一年で最も吉兆とされる3日と半日のうちの1日——にテンプルであった私の素晴らしい体験を話しました。私が体験を話した後、彼女はシッダ・ヨーガ・サンガムとそれを分かち合ってもいいかと私に尋ねました。私は「はい」と言いました——そして、これが体験です。

シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムの彼のテンプルで私がバデ・バーバに敬意を表しおじぎをした後、私は自分の席に着きました。数分して、たまたま自分の右の方を見やると、汚れのない幾筋かの煙がシヴァ・ナタラージャ神のムールティの前にある炉からうねって立ち上るのが、自分の目の前に見えました。煙はとても繊細でした。それは青みがかった白、白みがかった青でした。私は心を奪われました。

数秒間、私はこの光景の美しさを味わいました。そして、「ライブ動画配信が始まる直前に起こっているこの自然の美しさを、皆にも楽しんでほしい」と思いました。

私はテンプルの中にいるサツツァングの参加者たちに、ナタラージャ神の前に立ち上っている見事な半透明の煙に注目してほしいと言いました。皆が踊る煙の美しさを見

ようと振り向くと、甘美なざわめき——皆の「わぁ」——がテンプル中に波紋のように広がりました。私は自分の視線の中の一人が、煙とまさに同じような青みがかった白の服を身に着けていることにさえ気づきました。私たちがバガヴァーン・ニッテヤーナンダのテンプルに座り、神聖なグディー・パードゥワーの日を祝うためにシッダ・ヨーガ・ユニバーサルホールの皆と一緒にしようとしていた時に、立ち上る煙という形のナタラージャ神の踊りの目撃者となったことに、私は心を動かされました。

その後サツァングで、私は皆をバデ・バーバの黄金の姿について瞑想するよういざないました。瞑想の間、私の目はバデ・バーバのほほ笑んだ顔にくぎ付けになりました。数秒のうちに、テンプルの中で目に見えるのはバデ・バーバの姿だけであることを私は目撃していました——なぜなら、テンプル全体が、シヴァ・ナタラージャ神のムールティの前の炉から現れているのを私が見たそれと同じ、柔らかく、優しく、繊細で、脈動している青みがかった白い煙で満たされていたからです。この青みがかかった光の粒子はちらちら光り、宙を舞いました。それらは バデ・バーバの存在の周りに、水滴を逆さまにした形を作りました。ナタラージャ神の前の踊る煙が自らテンプルの中に移動したのだという理解で、私は畏敬の念に打たれました。青みがかった輝きは瞑想の間私たちと共にいました。

この体験は、浄化されると同時に電撃的でした。そのようなエネルギーで満たされることは、神の愛に選ばれているということです。

